

出張報告書

令和 2 年 11 月 6 日

会派名 公明クラブ
会長 永本 浩子 様

出張者氏名 永本 浩子 澤谷 淳子

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 2 年 11 月 4 日(水) ~ 平成 年 月 日() [1 日間]						
出張概要	①	月日	11月4日	市町村名	士別市	会場	士別市役所
		目的	視察				
		テーマ	士別市役所新庁舎の視察				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

士別市役所新庁舎の視察に関する所見

公明クラブ 永本浩子 澤谷淳子

令和 2 年 9 月議会で網走市役所の「網走市役所の位置を定める条例」が可決され、いよいよ実施設計の段階に入ったことから、令和 2 年 5 月に開庁したばかりの士別市の新庁舎を視察した。

まず驚いたのは、平成 20 年に決めた 33 億円の予算上限額を守ったためお金が足りず、経済部と農業委員会は旧庁舎に残し改築、新庁舎と分散型になり、併設の消防庁舎は大きくなったが市庁舎はコンパクトになった、という点だ。

また、士別市の人口は 1 万 8 千人を切っており、規模的には網走市の約半分だが、市議会議員の定数は 17 名で網走より 1 名多いのにも驚いた。議場はかなり狭くフラットなため、傍聴席が近いのが気になった。しかし、議場と議会事務局がつながっているためネット配信や音量調節などがスムーズだと思った。

市民の声で最も多かった「窓口の分かりやすさ」に応えるため、1 階には市民の利用が多い窓口を集中させ、内容を番号と色分けで分かりやすく工夫、総合案内で聞くと「何番の何色の窓口へ」と案内される。更に、一つの窓口には違う課や係りが入り、ワンストップ、ワンフロア体制で市民サービスの向上が図られており、大いに参考にするべきと思った。市民の声から、ATM や自動販売機コーナーもある休憩スペースとして「市民テラス」も設置されていた。

また、総工費 33 億円の中には備品代は入っていないが、カウンターや事務機器などは新しく更新した方が引っ越し代は安い！古いものは希望する市民や業者に持って行ってもらった、との話もあり参考になった。

更に、士別市は美幌町と同じ「地中熱ヒートポンプ」を導入して二酸化炭素排出量やランニングコスト削減に取り組んでいた。しかし、環境省からの補助額は 5,000 万円程度なので、起債の殆どは合併特例債の活用が占めているとの話だった。残念ながら網走市はどちらもあてはまらない。

2 階には市長・副市長室、災害対応関連の部署や機能を集中させ、消防本部とも連絡通路でつながっているため、災害時にはすぐに連携が取れるようになり、素晴らしいと思った。網走市で最も議論が集中した「津波」に関しては、士別市は内陸部に位置するため津波の心配は全くなく、課題は冬期の凍結と積雪とのことだった。災害時の電源の確保に関しては、灯油の供給が安定しており、災害時に残っている灯油を使えるため、重油ボイラーを灯油に切り替えている、消防庁舎は元々軽油を使っていて、タンクもある、とのことだった。

士別市では議会のペーパーレスも進んでおり、タブレットを開くと 4 年分のデータをすぐに検索することが出来、議員のスキルアップにもなる、とのこと。議会事務局からの郵便物はほぼゼロになり、年間 70 万円、4 年間で 280 万円かかっていた印刷代と郵送料が節約された。が、強力な WiFi 環境にしておかない

と後で足りなくなってしまうので要注意！と、新庁舎建設の際の貴重な助言も

頂いた。網走市もペーパーレスを検討中なので大いに参考になった。

今回の視察内容を網走市の新庁舎建設に活かせるよう、真剣に取り組んでいきたい。